

3類型	鋳工業品	通巻番号	4-22-019
地域資源名	高岡銅器	認定日	平成23年2月2日
地域	高岡市	所管省庁	経済産業省

**事業名：高岡銅器の現代的着色仕上げ技術を活かした「インテリア用品
および建築部材」の製造・販売**

会社名：有限会社モメントムファクトリー・Orii 所在地：富山県高岡市長江530
 連絡先：TEL：0766-23-9685 H P：http://www.mf-orii.co.jp/
 FAX：0766-23-9696

事業概要(新たな活用の視点)

- ・高岡銅器の伝統的な着色技法は、銅や真鍮の鋳造品に対して、日本酒や食酢、米麴、食塩等の自然素材を組み合わせ、800℃～1,000℃の高温で焼き、酸化還元を繰り返すことで様々な模様に変色させるものである。
- ・同社は、自然素材の代わりに化学薬品等を用いて伝統的な風合いを高い再現性で発色させる技術を確立し、これまでは熱影響等を受けることから困難とされていた厚さ1mm以下の圧延板・伸銅品への着色を実現。掛け時計や壁面のアクセントパネル等従来にない用途開発を可能にした。
- ・インテリア用品、建築部材としての用途開発を進め、各種展示会への出展を通じた商品PRを行い、新たな販路開拓を図る。

売れる商品づくり(競争力、市場性、販路)

◆競争力

- ・インテリア用品に用いられる木材やガラス、壁面の建築部材に用いられる漆器や大理石といった素材に対し、金属の質感に着色による特有の風合いが加わり、斬新性が高く、耐蝕性、耐衝撃性等にも優れている。

◆市場性

- ・平成20年のカジュアルギフト雑貨の市場規模は3.4兆円であり、平成9年以降増加傾向にある。平成19年のウォールカバリング(壁材)の市場規模は、約1,000億円である。

◆販路

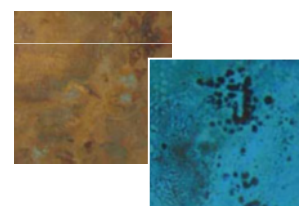
- ・既に引き合いがある銀座三越等の百貨店販路に加え、全国のセレクトショップ、建築設計・デザイン会社の販路を開拓していく。

地域における関係事業者等との連携

- ・高岡銅器伝統工芸士会、伝統工芸高岡銅器振興協同組合、高岡伝統産業青年会の役職を担い、高岡銅器の伝統技術・技法の継承、技術力向上等を通じて伝統工芸の振興に努めている。



【伝統的着色の風合い】



【現代的着色の風合い】



【用途の一例(花器)】



【用途の一例(時計)】